

トロッコ列車ラスト・ラン!

令和5年11月運行終了



「奥出雲おろち号」は平成十年四月より木次線の利用促進策として運行している観光列車で、毎年二万人近くの利用者があり、木次線のハイライトであるスイッチバックを体験し四季折々の車窓を楽しむ事が出来き、沿線の人たちより親しまれ「おもてなし」の心は島根県を体表する観光列車です。

機関車と客車2両の編成で備後後落合側の先頭部の客車に運転席を改造し、運転室から最後尾の機関車を制御し備後落合行きは木次線沿線市町からJR西日本車は無人で運行出来る総括制御(その)に対してトロッコ列車の新造に係る経費の財政支援をする」と表明したものの、JR西日本からは財政支援をされてもトロッコ列車の新造はしないとの表明があり、後に代替車両として、現在鳥取を起点として運行している「あめつち」の入線が報じられた。

また、これまでのトロッコ列車とは全くコンセプトの違う列車として育てて行くのには大きな苦勞と木次線そのものの存続にも大きく係わる重大問題となるでしょう。



発行者
699-1332
島根県雲南市 木次町木次446-2
雲南市蒸気機関車 C56108保存会
tel 0854-42-2574

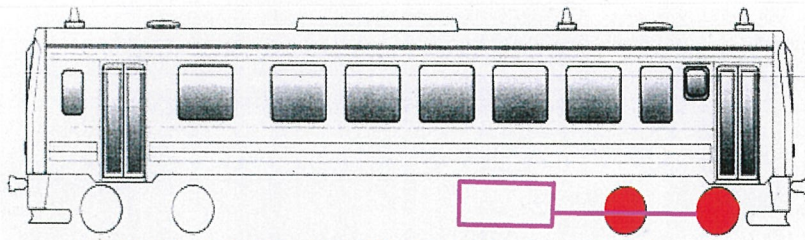
「あめつち」はどうしてスイッチバックを走らないの?

この度のトロッコ列車終了により木次線の観光列車として入線するのが、現在鳥取を起点として出雲方面への観光列車としている「あめつち」です。

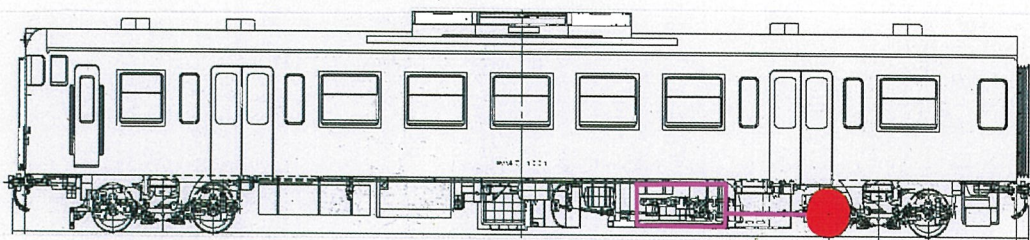
しかし、「あめつち」は種車(改造前の車種)は比較的平坦地を運行するように設計されたキハ47型です。現在木次線で運行しているキハ120型は勾配線区でも対応できるように駆動用のエンジンから台車2軸を駆動するよう設計がされていますが、キハ47型は1軸しか駆動しません。

木次線の場合出雲横田以南は急勾配が続く、積雪時や秋の紅葉時期の枯れ葉による空転が心配され、以前より出雲横田以南の普通列車には2基エンジンの2駆動車指定されていました。

そのため、キハ47型のように1軸駆動では空転の心配もあり、木次線のハイライト区間でもある出雲坂根のスイッチバック区間には入線する事が出来ません。入線出来ない事は以前より承知の上で何故「あめつち」の入線となつたのか理由は不明です。



木次線キハ120系 動力330PS 自重27.2t 2軸駆動



「あめつち」種車キハ47系 動力220PS 自重約35.6t 1軸駆動

木次線物語⑨ 二頭のおろち

当初おろち号は夏期はトロッコ列車として、冬期はラッセル車としても運行できるDE15にて運行されていましたが、平成二十一年十一月に運行中のDE15が不調により運行が出来なくなりました。そこで、急遽ピンチヒッターに入つたのがラッセル仕様ではないもののDE15の兄弟分とも言えるDE10が運行に入ってきました。当時のDE10はおろち色ではありませんでしたので、僅か4日間だけ国鉄色で運行されましたが、

2両とも車歴もかなりとなり、DE10も直ぐさまおろち色に塗り替えて緊急の場合でも運行出来る2両体制で交互に運行していました。



国鉄色で運行していたDE101161・現おろち色



冬期はラッセル車として待機した・DE152558

視察研修会

ばた電納涼列車ツアー

保存会では毎年研修会として鉄道に乗る事にしています。一昨年から2年続けて「おろち」号の切符が取れませんでした。そこで2回目となる一畑電車に乗る事にしました。

2回目の乗車ですが一畑電車はとても親切で特別に私たちだけのために希望の日時に臨時の貸し切り列車を用意して下さいました。JRで出雲市まで行き電鉄出雲市から途中見学の為に1時間ほど雲州平



田駅に長時間停車をして松江温泉まで楽しい一時でした。ただ残念だった事は前回は車内にビールサーバーを用意して頂き飲み放題の納涼列車でしたが、今回はコロナ禍でもあり持ち込みのビールでした。ガングリンに冷えたビールを飲みながら宍道湖を眺めながらの旅を堪能しました。目的地から目的の地まで移動するための鉄道もいけれど、何も考えずにただ揺られながら鉄道に乗る乗り鉄も鉄道の楽しみのひとつだと思います



JR木次駅付近の移転保存に向けて

JR木次駅を地域のコミュニティ化!

保存会としてC56108をJR木次駅付近に移転保存をしたいと計画をして早五年が経過しました。陳情をしたり移転の署名活動や移転費用の募金活動も行い。昨年には中活協(中心市街地活性化協議会)よりJR木次駅付近の再開発事業の一環として移転保存を要望も致しましたが、一向に進展する事無く停滞し、C56108も現在地の野天保存では腐食に耐える限界に達しています。

また、現在のJR木次駅は、近くの大ホールを持つチエリヴァホールや商業施設マルシェリーズとの連帯感が全く無く、ただのJR木次線の乗降施設だけの施設となっており存在感が薄くなっています。このような中で、例えばJR木次駅構内に市役所出張窓口・ミニカフェ・観光協会・金融機関・地域のNPO法人事務局・市民のコミュニティバスセンターなど、人の集まる地域のコミュニティホールとして整備し、その中にC56108を木次線乗車勧誘と木次線存続のモニターとして木次線を走る現在の列車と同じホームに並べて保存してやりたいと活動方法を発展的に変更して保存移転に向けて活動を進める事にしました。

保存会三年

事業報告

令和四年

- ・四月二日(土)・三日(日)桜まつり協賛公開展示 来場者三百七十一名・署名百七十一名
- ・募金活動・会員延べ二十五名
- ・五月二十日(水)第一回三役会・評議員会議案審議
- ・五月二十六日(木)第一回役員会・評議員会議案審議
- ・六月九日(木)令和四年度評議員会(総会)・雲南市長石飛



市長来賓による評議員会

厚志氏来賓として出席・令和三年度決算・令和四年事業計画審議
会報「ちどり」第九号発行

- ・二千五百十部配布
- ・六月九日(木)清掃作業・剪定草刈り・廃油塗布



- ・六月二十二日(水)第二回三役会・市議会議員との意見交換会内容について審議
- ・七月七日(木)市議会議員との意見交換会(移転について)
- ・九月一日(木)第三回役員会・駅前賑わい市参加について
- ・九月十四日(水)研修旅行・一畑電車貸し切り納涼電車乗車
- ・十月十六日(日)JR木次駅前賑わい市参加・ミニSL(おろち号)運行・署名募金活動
- ・十一月十七日(木)第四回三役会・シート掛けについて
- ・十二月七日(水)冬期シート掛け・懇親会



駅前賑わい市・ミニおろち号運行

保存会の活動記録は、保存会ブログ及びフェイスブックからご覧いただけます。

C56108 保存会ブログ

C56108 保存会

<http://ameblo.jp/c56108/>

フェイスブック(facebook)

<https://www.facebook.com/seishun.horie>



- ・三月一日(水)第五回三役会・シート撤去・春の公開展示・保存箇所移転に向けてのアンケート調査並びに署名活動実施について
- ・三月十四日(火)シートの撤去清掃作業・廃油塗布と各所の点検作業
- ・四月二日・三日(日)桜まつり協賛公開展示 来場者三百七十一名・署名百七十一名
- ・募金活動・会員延べ二十一名